



こんにちは！

家電リサイクル法は、家電製品を正しくリサイクルしてごみを減らして資源を再利用し、私たちの周りの環境を守るための法律です。

★関西リサイクルシステムズは、家電製品のリサイクルをしている工場です。

◆家電リサイクル法には家電製品を作った会社、売ったお店、使った人のそれぞれに役割があります。間違っているものはどれでしょう？



使った人



作った会社



売った店

- ① 使った人は、使わなくなった家電製品を引き渡し、リサイクル料金と収集運搬料金を支払い正しい方法で処分します。
- ② 家電製品を作った会社はリサイクルし、リサイクルしやすい製品づくりをします。
- ③ 家電製品を売ったお店は、使わなくなった家電製品を買い取ってお店で売ります。

集めた家電製品は、全国にある指定引き取り場所というところに運ばれていきます。リサイクル工場も北は北海道、南は沖縄までありますが、1つの工場でたくさんある家電メーカーさんの製品を解体できないので、2つのグループに分けられています。



◆リサイクルプラントに運ばれてくる家電製品はそれぞれ品目ごとに分けられ大きなカゴに入れられます。そして、重さを量るのですが、なぜ重さを量るのでしょうか。
※正しいと思うものに丸をつけてください。

- ① カゴ1つ分の重さを量り、解体したものがどれだけ資源に分けられたかを調べるため。
- ② カゴ1つ分の重さを量り、いらないものが入っていないか調べるため。
- ③ カゴ1つ分の重さを量り、毎日入ってくる製品の重さのちがいを調べるため。



家電リサイクル法では、再商品化率（リサイクル率）というものが求められています。解体したのちからもう一度資源にもどるものがどれくらいあるかを調べ、管理する団体に報告しています。

【みんなでできること・やってみよう】

使い終わった家電製品は正しく処理をしなければなりません。資源の少ない日本にとって、大切な未来の資源となるからです。大事に使った家電製品を出すときは、感謝の気持ちを込めてきれいにリサイクルしましょう。

※回答はホームページを確認してね。